

教科別採択教科書報告書

教科名 音楽	分野等 音楽（一般）
出版社 教育芸術社	書名 中学生の音楽
1．新しい学習指導要領への対応について (1) 学習のねらいをわかりやすく示すとともに、生徒が主体的に学べるよう工夫されている。また、意見交流しやすいようヒントを示し、対話的な学びを引き出す配慮がされている。 (2) 多様な曲種の音楽を取り上げ、生活や社会と音楽との関連や他教科等との横断的な学習が展開できるよう工夫されている。 (3) 各学年の目標や内容に対応した教材を適切に取り上げ、資質・能力を育みながら学びが深まるよう構成が工夫されている。また、音楽を形づくっている要素をそれぞれの教材ごとにわかりやすく提示し、音楽的な見方・考え方を働かせながら目標が達成できるよう配慮されている。	
2．内容について (1) 各教材が系統性・発展性をもって組織され、関連性をわかりやすく示すとともに、学習の繋がりがスムーズになるよう配列されている。文章は丁寧なまとめられ、イラスト等により活動しやすいよう配慮されている。 (2) 我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽、諸外国の音楽を多数取り上げ、地域性を考慮した学習にも配慮されている。また、音楽の共通性や固有性を感じ取り、多様性を理解できるよう教材が配置されている。 (3) 巻末資料やデジタルコンテンツ等により興味・関心や発達の段階に応じた補足的・発展的な学習に配慮されている。	
3．造本等について (1) 楽譜、文字、イラスト、写真などは発色もよく鮮明であり、ユニバーサルデザインが施され視認性に配慮されている。 (2) A B 変形判で見やすく扱いやすい。また、見開きで見やすく、扱いやすい判型である。	

教科名 音楽	分野等 音楽（器楽）
出版社 教育出版	書名 中学器楽 音楽のおくりもの
1．新しい学習指導要領への対応について (1) 学習のねらいと内容が明確に示してあり、主体的・対話的に学習ができるように配慮されている。また、ポイントを絞った手順を示し、学んだことを活用しながら、協働的に学習を深めていけるよう工夫がされている。 (2) 教科横断的に、多種多様な音楽文化の歴史的な背景や特徴などにも触れ、教材は身近な出来事から諸外国の音楽まで扱い、幅広く知識や技能を学んでいけるよう工夫されている。 (3) 学習のねらいと内容が楽器ごとに分類され、基礎的な技能の習得から発展的な学習へ進んでいけるよう、適切な教材が配置されている。音楽的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、共通事項を題材ごとに記載している。	
2．内容について (1) 学習内容が系列的な配列となっていて、表現方法、文字の配列や、フォントの使用を使い分けるなど、細部にわたり配慮されている。 (2) 日本の自然な四季の美しさ、くらしと伝統的な行事に関わる教材が取り上げられ、和楽器では、歌唱を用いることで、我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫されている。 (3) WEB資料や巻末資料により、生徒の実態に合わせて、興味・関心・発達の段階に応じて習得できるよう配慮されている。	
3．造本等について (1) 写真やイラストなどが効果的に使われている。デザインやフォントの工夫や、見開きで学習を見通せる構成にするなど、より多くの生徒が学習に集中できるよう配慮がされている。 (2) 扱いやすい判版で、必要な情報を見やすく掲載している。	